

ノーマライゼーションという言葉をご存じですか？みなさんがよく耳にしたことがあると思いますが、バリアフリーやユニバーサルデザインという考え方も、ノーマライゼーションの考え方から派生したものです。

ノーマライゼーションという考え方は、デンマークのバンク・ミケルセンが、知的障害者へのあり方に対して提唱したのが始まりといわれています。障害者の親と共に生活環境の改善に取り組み、「1959年法」と呼ばれている法律に、「ノーマライゼーション」という言葉を盛り込んだことがきっかけでした。1959年法の中で「障害のある人たちに、障害のない人々と同じ生活条件を作り出すこと」「障害者でも一般市民と同様の生活や権利が保障されている社会を」と提唱しました。

的障害者が得られるようにすること」として次の以下の8つの原理を定義しました。

- ・1日のノーマルなリズム
- ・1週間のノーマルなリズム
- ・1年間のノーマルなリズム
- ・ライフサイクルでのノーマルな発達の経験
- ・ノーマルな個人の尊厳と自己決定権
- ・その文化におけるノーマルな両性の形態すなわちセクシャリティと結婚の保障
- ・その社会におけるノーマルな経済的水準とそれを得る権利
- ・その地域におけるノーマルな環境水準

また、1981年の「国際障害者年」の制定もノーマライゼーションの理念が広がる大きなきっかけになりました。国連が障害のある人々の問題を世界的な規模で取り上げ、啓蒙を行う世界最初の出来事でした。その後、この考え方は障害者政

策の重要な考え方として世界に広まりました。「国際障害者年」の制定は日本の社会福祉政策を後押しし、1995年の「ノーマライゼーション7か年戦略」で介護サービスの充実やバリアフリー化の促進など、具体的な数値目標を掲げました。

また、障害者が自らの意志でサービスを受けられるように、2003年に「支援費制度」、2006年に「障害者自立支援法」、2013年に「障害者総合支援法」と形を変えていきますが、ノーマライゼーションの理念の通りサービス対象者の範囲も年々広がっています。

さらに、2016年には「障害者差別解消法」が成立しました。公共機関や企業に障害者の「不当な差別的取扱いの禁止」や、障壁を取りのぞく「合理的配慮の提供」をもとめ、個性を尊重した共生社会の実現を目指しています。

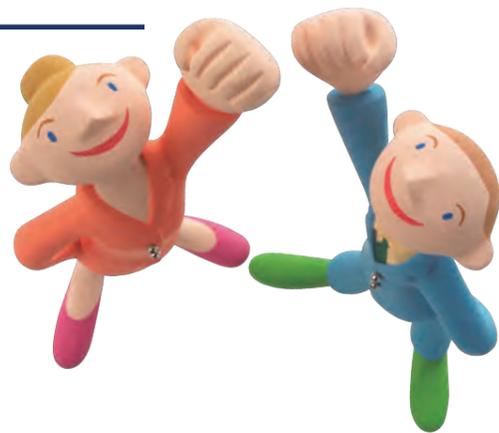
このように、障害者が大型施設に入居するのではなく、慣れ親しんだ地域の中で暮らすことで、職場にも通い、地域の見回りやゴミ

拾いをするという社会活動に参加したり、障害のある選手が活躍するスポーツ・競技の機会が広がったりするといった、社会参加のためのさまざまな取り組みが動き出しています。

しかし、内閣府が発表した「障害者白書」には、障害者が社会生活を送るうえで、[1]物理的障壁、[2]制度的障壁、[3]文化・情報面での障壁、[4]意識上の障壁(心の壁)という、4つの障壁があるとして、これらを除去していかなければならないとの記載があります。

ノーマライゼーションの理念にあるように、障害者に対する理解を深め、障害者を特別視せず、社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えていけば、障壁がなくなり、ノーマライゼーション社会の実現が可能となります。ノーマライゼーションは、決して障害者のためだけのものではありません。障害のある人が暮らしやすい社会は、あらゆる人々が暮らしやすい社会とも言えるのではないのでしょうか。

社会福祉士は、あなたの生活を支えることを目指しています



あなた自身や家族の方が生活の中で困ったことがあった時に、お話をよくうかがって、解決するために**最も適したサービスに「つなげる」という**役割を担います。



兵庫県社会福祉士会
オリジナルキャラクター
兵之助くん

- 病気
- 介護
- 障害
- 子育て
- 生活資金
- 災害

生きていく上で様々な**困難や危機**に出会った時に、法律や制度、地域にあるサービス、専門的な知識が必要となる情報などを**適切に助言**し、生活を「ささえる」チカラになります。

預貯金や住居の財産管理、生活を支える福祉サービスの利用契約を代行する**成年後見人**としてあなたを「まもり」ます。また、高齢の方や障害のある方を「まもる」ため、地域の自治体や弁護士などの専門職と連携し、**虐待防止**に積極的に取り組んでいます。

最も適したサービスに
あなたを
つなぐ

法律、制度、サービスを
適切に助言し、あなたを
ささえる

成年後見人や
専門家としてあなたを
まもる